

新基地建設反対名護共同センターニュース

感動呼んだ「第3回辺野古障がい者のつどい」

障がい者を迫害し 障がい者を生む戦争は絶対反対！
 県内外から障がい者と健全者250人が参加



フィナーレで「ケ・サラ」を全員合唱する参加者



挨拶する
渡嘉敷実行
委員長



↑車椅子から「戦争のための基地は反対！」と訴える参加者



熱演・熱唱に感動！

右田隆さん(写真↑)のアレン・ネルソンの半生を描いた一人芝居の熱演と、辺野古の歌姫・川口真由美さん(写真→)の熱唱にテント村は深い感動に包まれました。



「第3回障がい者辺野古のつどい」が7日、辺野古ゲート前テント村で実行委員会の主催で開催され、県内外から障がい者と健全者250人が参加しました。渡嘉敷綾秀(すいしゅう)実行委員長が「戦争は人の命を奪い、多くの障がい者を生み出す。戦争につながる辺野古新基地建設を政府が諦めるまで集会を続ける」とあいさつ。オール沖縄・稲嶺進共同代表があいさつし、北上田毅氏が工事の現状を報告しました。続いて俳優の中村敦夫さんや歌手の加藤登紀子さん、精神科医の香山リカさんなど10数人からの連帯メッセージが紹介されました。リレートークでは県内外から駆けつけた障がい者が「戦争は反対、戦争につながる新基地建設は反対」とそれぞれの思いを語りました。後半の文化行事では、一人芝居の右田隆さんと歌手・川口真由美さんのコラボレーションによる演劇と歌の時間を満喫しました。右田さんは小雨降る中、泥にまみれながら一人芝居を圧倒的迫力で演じました。最後に「権力を私物化する安倍政権を終わらせ、辺野古新基地計画中止をめざす野党連立政権を樹立しましょう」とアピールを採択、川口さんのリードでケ・サラを全員合唱し、終了しました。

「障がい者のつどい」の様子は、OTB 沖縄テレビ(8チャンネル)で12月12日(木)18時すぎに放映される予定です。

県民大行動「“辺野古”は絶対に許さない！」と800人決意

このテンポでは60年かかる
 平和市民連絡会・北上田毅さんが「新基地の埋め立ては土砂総量の1・1%にとどまっている。このテンポでは60年も工期がかかり必ず頓挫する」、ヘリ基地反対協・仲本興真事務局長が「現場での非暴力のたたかいが政府・防衛局を追い詰めている」と報告しました。高里鈴代共同代表の音頭で「沖縄を返せ」の合唱と頑張りう三唱をして閉会しました。

オール沖縄会議は7日、第1土曜日定例の県民大行動を冷たい雨の中開催、800人超の県民が参加しました。稲嶺進共同代表があいさつ(写真左端)。赤嶺政賢衆院議員などオール沖縄の衆参国会議員5人全員が挨拶と決意を表明しました。県議会与党訪米団の渡久地修团长(写真右内)が、下院議長はじめ上下両院の有力議員に県民投票で示された県民の民意を伝えたこと、米労組APALA、シンクタンク等と意見交換し「辺野古のたたかいへの連帯や理解が広がっていると実感した」と報告しました。

